

楽しい夏休みを過ごす御提案 ～VUCA(ブーカ)をたくましく生き抜く力～

人材育成コンサルタント 三好良子



みよし りょうこ  
 人材育成コンサルタント・人間関係士・産業能率大学総合研究所・日鉄総研(株)・日本GWT(グループワーク・トレーニング)協会理事長・SPコミュニケーション協会・アンガーマネジメント&メンタルヘルススペシャリスト等

VUCA(ブーカ)という言葉を御存知でしょうか。

Volatility(変動性)・Uncertainty(不確実性)・Complexity(複雑性)・Ambiguity(曖昧性)というキーワードの頭文字からできた言葉です。想定外が想定内で予測が不能な現代を生きている子ども達だからこそ、今年の夏休みの過ごし方を親子でチョッピリ見直してから始めてみませんか？

Ⅴ：変動性・不安定さ～親子で夏休みの過ごし方の目標を立てよう。

家庭も教育現場も地域も驚くべき速度で変わっていく激動の時代です。「昔は良かったのに」「私の時代は」と懐古主義にこだわらず、変わることを恐れずに楽しむ姿勢が必要です。子育てこそ「まさか」の連続で意外な展開が待っています。簡単に予測できるという傲慢さは捨て、何が起きても「やっぱり来たか」という心持ちで受け止めましょう。

思いも寄らないことが起きて慌てないコツは、①我が子は「こんな大人になって欲しい」という目的が明確になっていること。②家庭内に、自分をさらけだせる心理的安全性があること。

さあ、早速「今年の夏休みはこう過ごしたいね」という目標を家族で話し合ってみよう。身勝手な親の指示命令ではなく、親子で一緒に相談し合う家族会議がおすすめです。

Ⅵ：不確実性・不確定さ～子どもと一緒に学びましょう。

人生を取り巻く環境は、はっきりせず将来は不透明です。一国主義や自己中心が蔓延して色々なことが不穏な方向に進んでいます。何が正しいのかさえ分からない世の中だからこそ、子どもは親を試しています。

おほつかない不安感情を払拭するコツは、①情報の羅針盤を拡げること。事実ではないニュースやガセネタに踊らされず、片寄りのある「いいね」ばかりを集めて安心しないこと。②健康診断をするように、学びの場を活用して学ぶ心を失わないこと※。

さあ、堪忍袋を膨らませるのは知恵袋しかないのです。子ども達に夏休みの宿題ができるように、親も自分なりの宿題を見つけてみましょう。あなたはどの夏何を学び、何に取掛かりますか？

Ⅶ：複雑性～心の声に耳を傾けましょう。

何事につけても簡単には理解できないことが多い昨今です。従って、親がよく口にする「ここが違う」「ここであらねばならない」「ここあるべき」等の「べき思考」が当てはまらなくなってきました。

そうした狭い考え方になるほど、親子関係の溝が深まります。いくら我が子とはいえ、あの子はあの子なりに色々な考え方や感じ方や行動の仕方を持っているのです。入り組んだ畏れから解放されるコツは、①視点や枠組みを変えて多元的な見方をしてみること。②柔軟な軌道修正をすること。

さあ、親子の対話を単純かつ基本に戻しましょう。声にならない言葉に聞き耳を立て、心の声に耳をそばだてて聴く姿勢を正すと解決のヒントが見えてくるかもしれません。

Ⅷ：曖昧性・不明確さ～子どもが受け取りやすい対話を心掛けましょう。

現代人は言葉が曖昧で信念と行動が伴っていないことが多く、言っていることとやっていることが違うケースもあり、相手を混乱させています。親も子どもに抽象的

なことはかり口うるさく言うから、上手に

いかないのかもしれない。(例えば「捨てちゃいますよ」と言いながら捨てない・「綺麗に片づけなさい」と言いながらキッチンが汚い・「ちゃんとしなさい」の「ちゃん」とが良く分からない)

ハッキリしないあやふやな会話を陥らないコツは、①口にする前に相手が理解しやすい明確な台詞だったかどうかを点検する。言い終えた時に相手がかどう受け取ったかを確認すること。②未来志向の肯定的な伝え方を工夫すること。

さあ、この夏は脚本家になったつもりで発信力の練習を始めましょう。

※調布市教育委員会教育課社会教育課学習グループ「コミュニケーション学習会SMILE」公開講座開講中

